

3.健康で安心して暮らせるまちづくり

消防・救急

Fire fighting, emergency

■現況及び課題

本市は、県内有数の観光地として市内に4か所の温泉地を抱え、夜間人口が昼間人口を上回るといった現象が見られるとともに、建築物の高層化に伴い、災害に対する対応も多岐多様にわたり、火災等の災害時における人的、物的被害の増大が予想されています。

このため、宿泊施設をはじめ、各種工場や危険物施設、福祉施設、多数の人の集まる集会場などの防火査察を定期的に実施し、火災予防に努めています。また、市民への火災予防の徹底を図るため、広報活動や自主防災組織員、女性防火クラブ員等に対して防火教育を行い、防火思想が市民全体に普及するよう努めています。

今後の消防用施設の増強や設備強化については、消防庁舎をはじめ消防団器具庫等の改修や整備計画に基づいた新たな整備が必要不可欠となっています。消防自

動車などの機械器具は、都市機能の近代化や多様化に対応できるよう、順次更新等を行いながら、充実を図っていく必要があります。また、消防水利に関しても、上水道配水管布設に合わせ増設を図り、防火水槽も公共用地を主体として、各種災害に対応すべく、全市域に配置するように、計画的な整備が必要です。

出動件数が増大の一途をたどる救急については、救急救命向上を第一に*高規格救急車などを配備し、今後一層の救急需要増加に対応し得る体制の確立と、救急救命士の養成や技術の向上が求められています。

用語解説

高規格救急車...救急隊員が、高度な応急処置（呼吸管理、輸液、電気ショック等）を行うために必要な資機材を積載している救急自動車。

消防・救急

[施策の体系]

1. 防火思想の普及

2. 消防力の強化

3. 救急及び救助体制の充実

基本方針

火災予防運動の推進、防火思想の普及、消防施設整備、消防水利施設等の充実を図り、総合的な消防力の強化に努めるとともに、高度情報機器活用による救急医療機関との連携強化により、救急救助体制の充実を図ります。

施策

1 防火思想の普及

火災予防運動への市民参加の促進、自主防災組織及び女性防火クラブに対する指導の強化、民間企業及び住民参加の消防訓練を実施し、防火思想の普及を図ります。

2 消防力の強化

中高層ビル、危険物施設、特殊建築物の火災に対処できるよう、消防車両や資機材を計画的に整備し、消火栓及び防火水槽等の消防水利施設の充実を図るとともに、消防庁舎や消防団詰所等の整備拡充を推進し、消防隊の災害出動等、勤務体制についても

万全を期します。

また、消防職員の訓練施設や体力増強設備の充実を図り、消防体制の活力維持に努めます。

3 救急及び救助体制の充実

救助資機材の更新、整備を進めるとともに、救急、救助隊員の技術向上と知識の習得を図ります。

また、情報技術（IT）機器の活用を図ります。



消防訓練



救命講習会

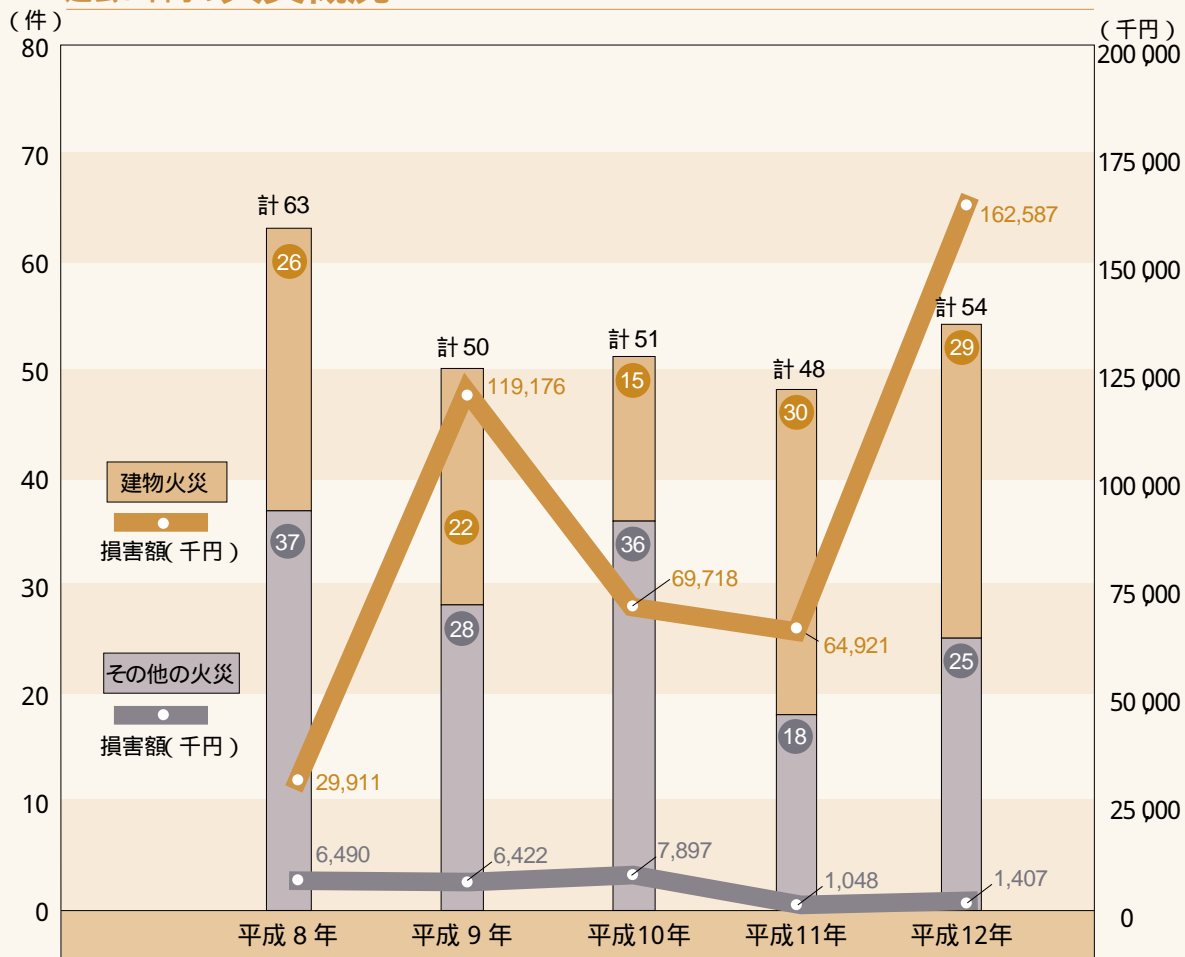
3.健康で安心して暮らせるまちづくり

■主な事業・計画

事業名	概要	計画期間		事業主体
		前期	後期	
消防機器材等充実事業	消防ポンプ自動車等更新			国・県・蒲郡市
分団器具庫整備事業	老朽化した器具庫の建て替え			国・蒲郡市
消防庁舎建設事業	移転新築			国・蒲郡市

●掲載資料

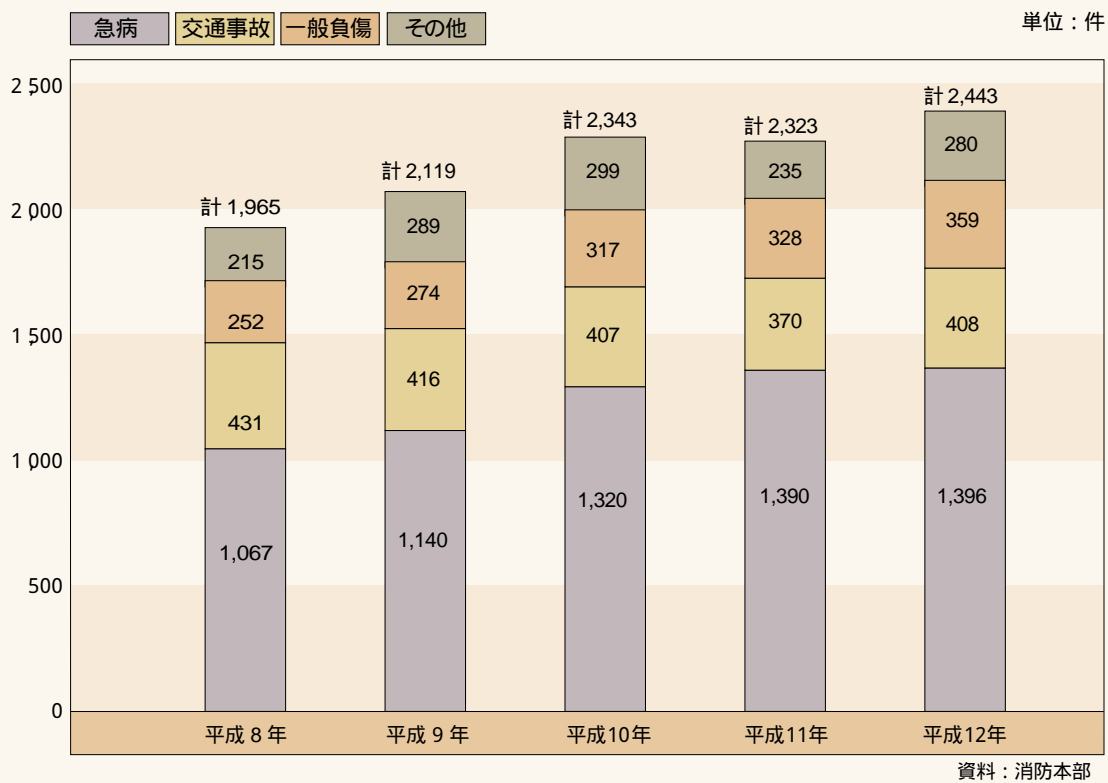
過去5年間の火災概況



資料：消防本部

●掲載資料

過去5年間の救急出動件数



●掲載資料

過去5年間の救助出動件数

